

2009年度 後期	曜日・校時	火・4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語 IV (French IV)			
対象年次 2年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等)	2T20A~23B		科目分類 外国語科目(フランス語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:大橋 絵理 /Eメールアドレス:eohashi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:環境科学部棟1階(123-2) /TEL: /オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: フランス語 III を履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクティビティができるようにします。 授業方法: 基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。 授業到達目標: 招待されたり、ヴァカンスの過ごし方を条件法や接続法で話します。またその後は「フランスの社会」についての長文を読み、フランスの地方の特色やフランスの教育制度、高等教育、フランスの政治、などについて学び、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CD を使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVD を使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。また、後半はフランスの社会問題についての読解が中心となります。 第1回 条件法、Si +直接法反過去、条件法 第2回 接続法、avoir, venir, être その他 第3回 接続法を使う様々な表現 第4回 複合時制、直接法大過去、直接法前未来 第5回 複合時制、条件法過去、接続法過去 第6回 フランスの国土(読解) 第7回 フランスの各地の特色(読解) 第8回 四季と暮らし(読解) 第9回 フランスの初等、中等教育(読解) 第10回 フランスの高等教育(読解) 第11回 フランスの美食料理(読解) 第12回 フランス人と政治(読解) 第13回 フランスの左派と右派(読解) 第14回 雇用と失業(読解) 第15回 まとめと試験				
キーワード	楽しく日常会話ができるようになる			
教科書・教材・参考書	Amicalement、および プリント 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)			
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。			